

みずほCustomer Desk Report 2019/11/15号(As of 2019/11/14)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.81
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.80	1.1010	119.75	1.2853	0.6840
SYD-NY High	108.86	1.1027	119.81	1.2889	0.6841
SYD-NY Low	108.24	1.0989	119.26	1.2827	0.6770
NY 5:00 PM	108.40	1.1022	119.48	1.2882	0.6786
NY DOW	27,781.96	▲ 1.63	日本2年債	-0.20	▲ 1.00bp
NASDAQ	8,479.02	▲ 3.08	日本10年債	-0.08	▲ 3.00bp
S&P	3,096.63	2.59	米国2年債	1.589	▲ 5.58bp
日経平均	23,141.55	▲ 178.32	米国5年債	1.628	▲ 6.94bp
TOPIX	1,684.40	▲ 15.93	米国10年債	1.821	▲ 6.91bp
シカゴ日経先物	23,170.00	▲ 175	独10年債	-0.3515	▲ 5.00bp
ロンドンFT	7,292.76	▲ 58.45	英10年債	0.7070	▲ 5.05bp
DAX	13,180.23	▲ 49.84	豪10年債	1.1815	▲ 9.05bp
ハンセン指数	26,323.69	▲ 247.77	USDJPY 1M Vol	5.75	0.28%
上海総合	2,909.87	4.63	USDJPY 3M Vol	6.13	0.20%
NY金	1,473.40	10.10	USDJPY 6M Vol	6.55	0.15%
WTI	56.90	▲ 0.22	USDJPY 1M 25RR	-1.00	Yen Call Over
CRB指数	180.09	▲ 0.22	EURJPY 3M Vol	6.64	0.20%
ドルインデックス	98.15	▲ 0.22	EURJPY 6M Vol	6.95	0.16%

東京	東京時間のドル円は108.80レベルでオープン。仲値にかけて小幅にドル買いが進行し、一時108.86まで上昇。その後発表された中国の経済指標が予想を下回ったことで地合いが悪化し、アジア株安につられドル円も108.62まで下落。しかし下値も硬く終盤はレンジ推移となり、108.70レベルでクロスした。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.70レベルでオープン。アジア時間の円高地合いが続く中で狭い範囲のみみ合い。中国が米国産鶏肉の輸入制限を解除すると、のヘッドラインに円安に振れる場面もあったが既に噂されていたこともあり影響は限定的。ロンドン時は108.56-77円のレンジで推移し108.64レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0997レベルでオープン。朝方注目された独第3四半期GDPが前期比+0.1%となりリセッション入りを避けたことでユーロは1.1016まで堅調に推移。しかし勢いは持続せずほぼ変わらぬ1.0996レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2830レベルでオープン。朝方に英10月小売売上が予想外の減少となったもののポンドは堅調に推移し1.2867まで買われる。離脱党のファラージュ党首が選挙戦略を発表する、とのツイートに反応したとの声も聞かれたが、長続きせず結局1.2840レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、中国で10月の鉱工業生産や小売売上高が予想を下回ったことを受けて、リスクオフの円買いが優勢となる。欧州時間に米長期金利が低下幅を拡大すると、一時108.56まで下落するが、「中国が米国産鶏肉の輸入規制を緩和する」との報道を受けて、108.70まで反発。その後、小幅反落し、108.64レベルでNYオープン。朝方は米10月PPIが予想を上回ったが、ドル円の反応は限定的だった。その後、米金利低下に連れドル売りが進み、108.50を割り込むとストップを巻き込みながら108.27まで下落する。午後は「米中は第一段階の貿易合意取りまとめで難航」との英紙報道を受けて108.24まで安値を更新。終盤にかけて米株が下げ幅を縮小する中、ドル円も108.45まで値を戻すが、上値は重く、結局、108.40レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、7-9月期の独GDP(速報値)が予想を上回り、同国でリセッション(2四半期連続のマイナス成長)が回避されたが好感され、1.1016まで買い戻される。しかし、この水準では上値が重く、その後は上昇分を全て吐き出し、1.0996レベルでNYオープン。朝方は1.1000を挟んだ狭いレンジでもみ合い。その後、米金利低下を手掛かりに1.1027まで上昇するが、ユーロ円が下落する中、更なる上値追いは限定的だった。米金利の低下が一服すると、ユーロドルも小幅反落し、1.1022レベルでクロス。

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月14日	08:50	日 GDP(前期比/前年比)・速報	3Q 0.1%/0.2%	0.2%/0.9%
	09:30	豪 雇用者数変化	10月 -19.0k	15.0k
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	10月 4.7%	5.4%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	10月 7.2%	7.8%
	16:00	独 GDP(前期比)・速報	3Q P 0.1%	-0.1%
	18:30	英 小売売上高(除く自動車燃料・前月比/前年比)	10月 -0.3%/2.7%	0.2%/3.4%
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	3Q P 0.2%/1.2%	0.2%/1.1%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 225k	215k
11月15日	00:00	米 パウエルFRB議長 議会証言	現在の金融政策が適切である公算大きい	

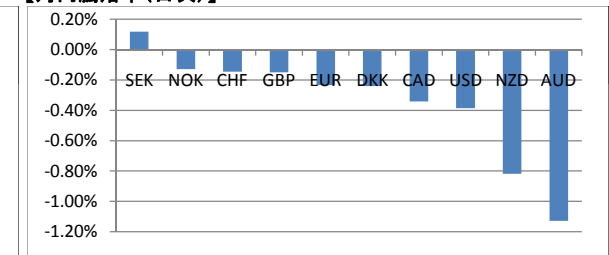
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月15日	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	9月 -	1.4%/1.1%
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	10月 0.7%/0.2%	0.7%/0.2%
	22:30	米 ニューヨーク連銀製造業景気指数	11月 6	4
	22:30	米 小売売上高(前月比)・速報	10月 0.2%	-0.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】FRBの利下げによる景気下支え効果+関税撤回=ドル円上昇?

ドル円相場は8月に104円台半ばを付けた後、米中通商協議の進展やBrexit期限延期などを経て底堅く推移し、一時109.49まで水準を戻した。年初から8月までの円高を主導したのも、その後の戻しも、いずれも主因は米中通商協議の進展度合いによるものと言えるが、10月に一部合意に至るなど、期待感が高まってきた。来月15日には、結論が保留されていた米国からの対中追加関税(15%)が一部品目について賦課される予定となっているが、米中通商摩擦の激化は、来年に大統領選を控えるトランプ大統領や米・中両国経済にとってネガティブである。再び関税の応酬に至るとは考えていないし、来月の追加関税も回避される可能性が高いと見る。

また、FRBが貿易摩擦の影響も見越して実施した今年3回の「予防的利下げ」は、年初来高値圏で推移する株式相場を支えていると見られ、当面は米利下げによる米景気や株式市場の下支え効果が期待できる。

米国の保護主義懸念は2018年初旬より幾度となくドル円や株式市場の上値を押さえてきたトピックであり、中でも注目されてきた対中関税の行方について、足許では12月の追加関税回避や、発動済関税の一部緩和・撤回というその先の展開も見えてきた。ドル円は上値の重さが目立つが、米利下げ+関税撤回の合わせ技をもってすれば、年初来高値(112.40)までの上昇という可能性の低いシナリオではなくてきているだろう。(高村)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:高村・木村 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

	竹内	加藤	関	光石	岡本	上野	尾身	原田	玉井	ブル	ベア
Today	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル	ブル	5	4
Week	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	4	5